



アポプラスキャリア ラーニングカフェ交流会 VOL.12

となりの産業保健

ストレスチェックを風土改革の武器にする

ーしくじりから学ぶ、職場改善のポイント

皆さまに支えられてアポカフェは4年目を迎えました。今回初めてキーワードに挙げたのは「しくじり」。セミナーや研修、学会に行き耳にするのは華やかな成功事例ばかりですが、実は私たちが本当に知りたいのは、各社のしくじり経験ではないでしょうか。ストレスチェックなどの結果をもとに、職場改革に挑んだ挑戦者の貴重なしくじり物語から、職場改善に必要なこと、人事としてストレスチェックをどのようにして味方にするのか等、明日へのヒントを探りました。

ストレスチェックをどう料理する？

今回は、幅広い職種・立場から35人が参加しました。事前アンケートから、ストレスチェックにおける「集団分析」の活用状況について共有され、「やっているが効果が感じられない」「上層部が動かない」「やらされ感」などの課題が浮かび上がりました。そして、「具体的な苦勞・工夫」と「再現性のある最初の一步」に関心を持って参加していることがみてとれました。

職場環境が悪化した意外な理由とは？

ゲストスピーカーは、大手企業で長く人事を務める担当者が登壇。地方の工場勤務へ異動し、安全衛生やメンタルヘルスに取り組むことになったことを機に、組織風土改革に取り組んだ奮闘を振り返りました。ストレスチェックから見てきたデータを味方に施策を進めたものの、なぜか状況は悪化する一方。分析を進めると、ストレスチェックの結果がフィードバックされていなかったことや、「職場環境の改善を望んでいない」「あきらめている」という実態を把握していなかったことなどが課題でした。その事実気づき、風土改革を経営課題として位置づけたことで「他の人たちが手を差し伸べてくれるようになり、事態は改善の方向に動き始めた」と振り返りました。最後に「大切なのは地道に1ミリずつでも前に進み、組織の弱さや不条理に寄り添うこと」と述べ、「正論だけでは組織は動かないこともあるが、一つ一つの“職場をよくしたい”という思いと、場をつくれればみんなが火をつけていくはずだ」と呼びかけました。

組織改革を成功へと突き動かした原動力

アポカフェ本編終了後の交流会では、参加者からの質問に回答しました。中でも多く寄せられたのは、しくじった施策の話以上に「なぜ心が折れないのか」「どのように自身の熱量を保っているのか」など、ゲストスピーカーのあきらめないメンタルへの問いでした。それに対して、実務を前に進めるために支えになったことや改革への思いを含めて回答し、参加者は大きくうなづきました。

開催日時：2026年6月26日

16:00-18:30

会場：新東京ビル SRMeetupSpace

講師：久保さやか／保健師

アポプラスキャリア株式会社

エグゼクティブアドバイザー



参加者の感想

リアルな事例の紹介があったので、グループワークでも踏み込んだ情報交換ができました。



終始和やかな雰囲気でした。運営スタッフのホスピタリティとチームワークの良さも伝わってきました。



お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社

ヘルスケアソリューション事業部

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

新東京ビル7階



アポプラスキャリア 株式会社